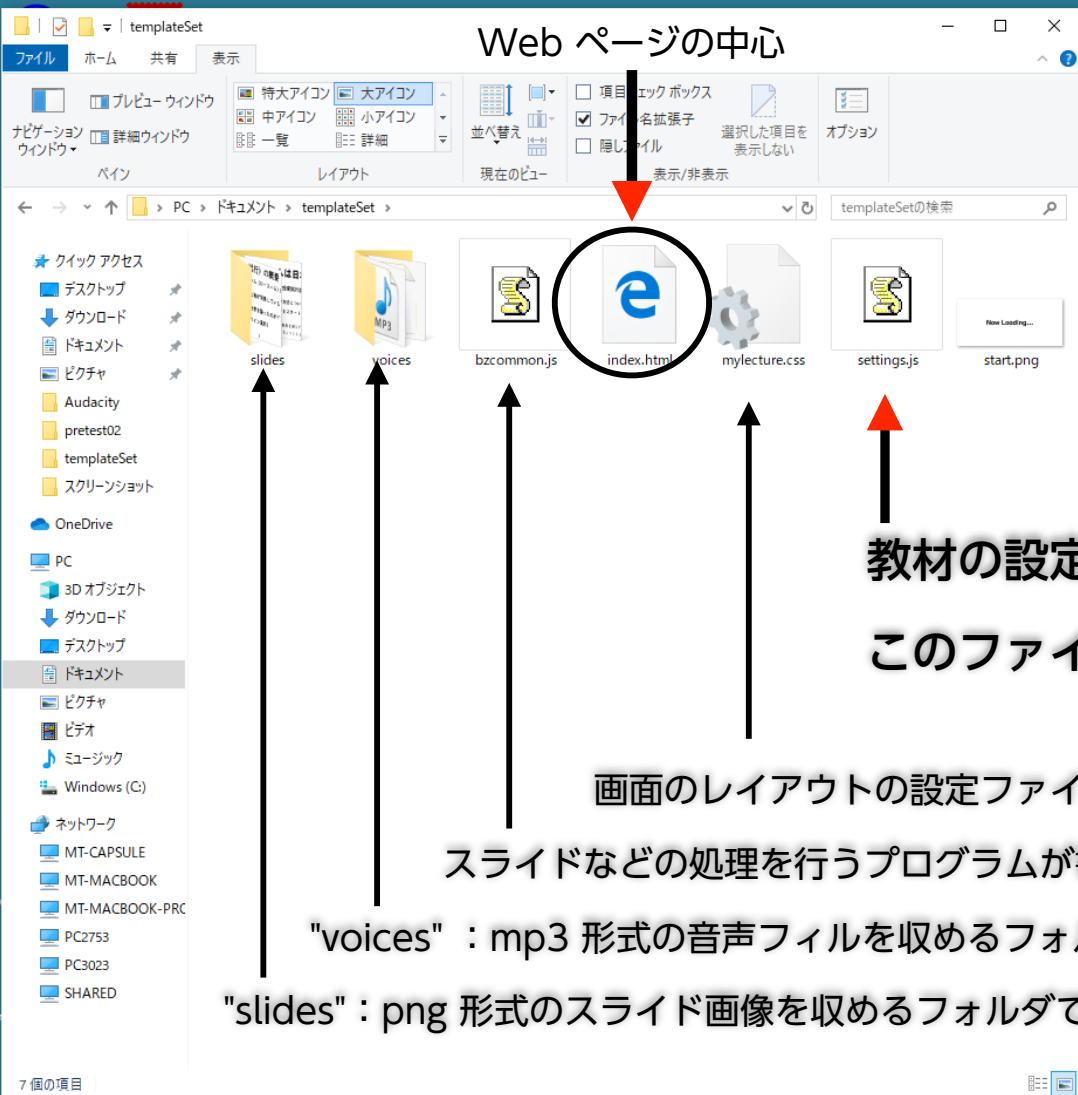


# 福井県立大学・田中求之の オンライン授業教材の設定方法

ギガに優しい授業教材の作成・設定方法の必要最低限の説明です。

初心者向けには書いてません。Web サーバへのパソコンからのアップロードの方法が分かってないと使えません（自分が自由にできる Web サーバの領域がなければ、そもそも使えません）。

また、使用や活用に関して、相談は受け付けません（今、それどころではないので）。その代わりに、これの JavaScript などをごどのように改変しようとかまいませんので、好きにしてください（たいした内容ではないし）



templateSet をダウンロードしてzip を解凍すると、左のようなファイルが入ったフォルダーになります

それぞれのファイルやフォルダーの役割を書いております

**教材の設定が書き込まれたファイルです**

**このファイルを書き換えることで、教材の設定を行います**

画面のレイアウトの設定ファイルです (CSSがわかっている方は自分でカスタマイズできます)

スライドなどの処理を行うプログラムが書かれたファイルです (カスタマイズはご自由に)

"voices" : mp3 形式の音声ファイルを収めるフォルダです

"slides" : png 形式のスライド画像を収めるフォルダです

受講者

internet

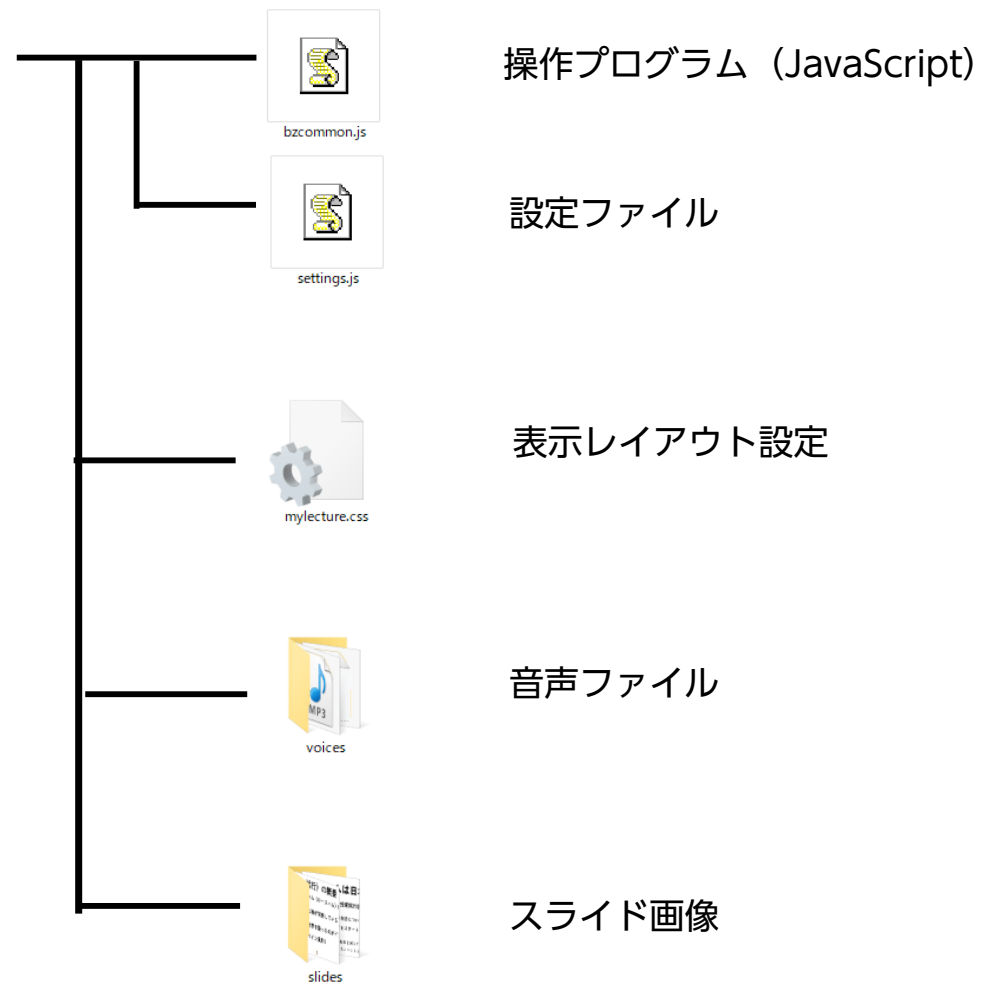


受講生は Web で index.html にアクセスします。すると、settings.js に書かれた設定に従って、bzcommon.js に書かれたプログラムが作動し、slides フォルダの画像や voices フォルダの音声を画面に配置し、学生の動作に反応するようになっています。

教材作成の基本的な作業は以下の通り：

- 1 : settings.js の修正
- 2 : パワポで授業のスライド作成
- 3 : PNG の画像ファイルに変換して保存
- 4 : 音声ファイルの録音、mp3 で保存
- 5 : サーバへアップロード

→スライド作って、音声録音して、設定する、という流れです



# カスタマイズのやり方

templateSet.zip を解凍してできたtemplateSetフォルダを、中身ごと丸ごと複製してください。

複製してできたフォルダの名前を、授業用のディレクトリ名に変更してください（必ず半角）

たとえばフォルダ名を "0504\_sys" にすると、アクセスの URL が [https://.../0504\\_sys/index.html](https://.../0504_sys/index.html) ということになります（たいていのサーバは、index.html を省略できます）

settings.js の修正、スライド画像の作成、音声ファイルの作成、が終了したら、フォルダごと web サーバにアップロードしてください

まず最初に、画面に表示される文章を編集します

- settings.js を右クリックして、ファイルを選ぶアプリケーションを選択できるようにして、「メモ帳」で開いてください
- 間違っても「ワードパット」や「Word」では開かないように  
(どうなっても知らないよ)
- setting.js には、ページで表示される文面が設定されていますので、自分の必要に応じて書き換えてください

汚れつちまつた PC に


福井県立大学・経済学部 田中求之

Internet Explorer では受講できません。  
Windows パソコンの人は [Google Chrome](#) をお使いください。

はじめに

汚れつちまつた PC に 今日も Zoom の降りかかる

汚れつちまつた PC は メールのかかつてちごこまる



# ロースハムは日本生まれ

## オンライン授業試行版 V.2

\*最初操作方法について説明しますので、  
まずは音声をスタートしてください

福井県立大学 田中求之 ……君たちのギガの負担を減らすために頑張ってみた  
ちよっとしょぼいものになったけど

トピック 1 スライド 1/5 (1-5)

Topics: [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#)

0:00 / 8:24


```

settings.js - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
// 授業ごとの設定
// ページで表示される文章の設定です
// 文中に改行を入れないでください！
// 文中で改行したい場合は <BR> という呪文を埋め込んでください
// 各設定行の最後(右端)の ; を消すとエラーになるので注意してください
// -----
// ページのタイトル
const myTitle = "汚れつちまつた PC に";
// 教師名
const myPageName = "福井県立大学・経済学部 田中求之";
// -----
// 冒頭の見出し
// 1文で良い場合は、メッセージ2を const myMsgTwo = "" にしておけば良いです
const myTopMsg = "はじめに";
// メッセージ1
const myMsgOne = "汚れつちまつた PC に 今日も Zoom の降りかかる";
// メッセージ2
const myMsgTwo = "汚れつちまつた PC は メールのかかつてちごこまる";
// -----
// ページ下部の見出し
// 1文で良い場合は、お知らせ本文2を const myInfoMsgTwo = "" にしておけば良いです
const myInfo = "お知らせ";
// お知らせ本文1
const myInfoMsgOne = "汚れつちまつた PC は なに映さなく鳴らすなく";
// お知らせ本文2
// *文中改行の呪文 <BR> 入り
const myInfoMsgTwo = "汚れつちまつた PC に<BR> ……なすところなく日は暮れる";
// ページ末のコピーライト
// XXXXX を自分の名前に書き換えてください
// (powered by &quot;Mac&quot; Tanaka) は残しておいてもらえると嬉しい
const myCpRight = "&copy;2020 XXXXX All Rights Reserved. (powered by &quot;Mac&quot; Tanaka)";
// -----
// ここから下で、画像(スライド)と音声の設定を行います
// スライド 画像ファイルの拡張子(フォーマット)は ".png" にしてください
// 音声ファイルの拡張子(フォーマット)は ".mp3" にしてください
// *Windows エクスプローラーの「表示」メニューで、拡張子を表示するように確認
// スライド 画像も音声ファイルも、半角数字で通し番号をファイル名にしてください

```

汚れつちまつた PC に

ファイル | C:/Users/fpuadmin/Documents/templateSet/index.html



# ロースハムは日本生まれ

## オンライン授業試行版 V.2

\*最初操作方法について説明しますので、  
まずは音声をスタートしてください

福井県立大学 田中求之 ……君たちのギガの負担を減らすために頑張ってみた  
ちょっとしょぼいものになったけど

トピック 1 スライド 1/5 (1-5)

Topics: [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#)

0:00 / 8:24

Slide: [最初](#) [前](#) [次](#) [最後](#)

---

**お知らせ**

汚れつちまつた PC は なに映さなく鳴らすなく

汚れつちまつた PC に ……なすところなく日は暮れる

©2020 XXXXX All Rights Reserved. (powered by "Mac" Tanaka)

```
settings.js - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
// 授業ごとの設定
// ページで表示される文章の設定です
// 文中に改行を入れないでください！
// 文中で改行したい場合は <BR> という呪文を埋め込んでください
// 各設定行の最後(右端)の ; を消すとエラーになるので注意してください
// -----
// ページのタイトル
const myTitle = "汚れつちまつた PC に";
// 教師名
const myPageName = "福井県立大学・経済学部 田中求之";
// -----
// 冒頭の見出し
// 1文で良い場合は、メッセージ2を const myMsgTwo = "" にしておけば良いです
const myTopMsg = "はじめに";
// メッセージ1
const myMsgOne = "汚れつちまつた PC に 今日も Zoom の降りかかる";
// メッセージ2
const myMsgTwo = "汚れつちまつた PC は メールのかかつてちごまる";
// -----
// ページ下部の見出し
// 1文で良い場合は、お知らせ本文2を const myInfoMsgTwo = "" にしておけば良いです
const myInfo = "お知らせ";
// お知らせ本文1
const myInfoMsgOne = "汚れつちまつた PC は なに映さなく鳴らすなく";
// お知らせ本文2
// *文中改行の呪文 <BR> 入り
const myInfoMsgTwo = "汚れつちまつた PC に<BR> ……なすところなく日は暮れる";
// ページ末のコピーライト
// XXXXX を自分の名前に書き換えてください
// (powered by "Mac" Tanaka) は残しておいてもらえると嬉しい
const myCopyright = "&copy;2020 XXXXX All Rights Reserved. (powered by &quot;Mac&quot; Tanaka)";
// -----
// ここから下で、画像(スライド)と音声の設定を行います
// スライド画像ファイルの拡張子(フォーマット)は ".png" にしてください
// 音声ファイルの拡張子(フォーマット)は ".mp3" にしてください
// *Windows エクスプローラーの「表示」メニューで、拡張子を表示するように確認
// スライド画像も音声ファイルも、半角数字で通し番号をファイル名にしてください
9行、1列 100% Unix (LF) UTF-8
```

# スライド（画像ファイル）の作成

- PowerPoint で授業用のスライドを作ります
- スライドのサイズ（書き出す際の画像のサイズ）の変更ができる方は、横は 900pixel に設定してください（表示の際にスライド横の最大は900pxです）
- 一つの画面にたくさんの内容を書き込むと、非常に読みにくいものになります
- 要点を絞って、5行ぐらいに収まるようにし、またフォントは UD 系フォントのゴシックか、教科書フォントを使うのがよいと思います。
- スライドができたなら、ファイルのエクスポートで、全てのスライドを PNG のファイルで保存してください（スマホ対応はPNGが最適なので）



# 画像ファイルの保存

エクスポートで全部のスライドを PNG 画像ファイルにすると、

「スライド1.PNG」 ~というファイル名で保存されるので、

これを 001.png というように、001 から始まる 3桁の数字（半角数字）の通し番号のファイル名に変更してください

ファイル名の変更が終わったら、ファイルを全て slides フォルダの中に入れます

# 音声ファイルの作成

- スライドができたら、それを見ながら、音声の収録を行います。
- 音声の録音は、Audacity というフリーウェアを使用するのがよいでしょう。

Audacity は以下のページからダウンロードできます：

- <https://www.audacityteam.org/download/>
- 上記のソフトで、録音後にエフェクトでノーマライズ（標準化）を行うことで、帯域を活かした音量のファイルになり、単に録音したものよりは、質が向上します。
- 録音したものを mp3 で書き出す時には、ビットレートを可変にして、基本を 120kbs ぐらいにして、モノラルにしておけば、音声であれば十分でしょう。

# 音声ファイルの保存

音声ファイルは、01.mp3 で始まる 2桁の半角数字の通し番号のファイル名にして、voices フォルダに入れてください（1 ファイル= 1 トピック、です）

# 仕上げ

## settings.js のトピックの設定

- スライドの画像ファイルと、音声ファイルの作成が終わり、それぞれをフォルダにいれたら、最後にトピックの設定を行います。

この部分で、各トピックの最初のスライドの  
通し番号を設定

```
// -----  
// ここから下で、画像(スライド)と音声の設定を行います  
// スライド画像ファイルの拡張子(フォーマット)は“.png”にしてください  
// 音声ファイルの拡張子(フォーマット)は“.mp3”にしてください  
// *Windows エクスプローラーの「表示」メニューで、拡張子を表示するようにして確認  
// スライド画像も音声ファイルも、半角数字で通し番号をファイル名にしてください  
// スライドは3桁 001.png から始まる連続した番号  
// 音声は2桁 01.mp3 から始まる連続した番号  
// 全体や1つのトピック内のスライド数には制限はありません  
// 画像ファイルは slides フォルダに収める  
// 音声ファイルは voices フォルダに収める(トピックごとにつとします)  
// *フォルダ名は変更しないでください  
// 各トピックの最初のスライドの通し番号(枚数ではない)  
// [ ]の中の項目の数がトピックの数になります(音声ファイルの数と同じにする)  
// この設定が重要ですので、忘れないよう間違わないように  
const tpStart = [1,6,11,17,24];  
// スライド画像総数を指定  
// slides フォルダの中の画像の数ではなく、ここで指定された数までの画像を使うようになってます  
// 実際のファイルの枚数より多いと、視聴途中でエラーになります  
// 実際のファイルの枚数より少ないと、多い分は無視されます  
const totalPics = 29;
```

ここに全体のスライドの枚数を設定

以上の設定で、作成と設定は終了です。index.html をブラウザ (Explorer 以外) で開くと、その時点の設定で確かめることができますので、実際に試してみながら作業を行うとよいと思います。